

## 一般選抜 前期入試

### 「数学」 出題意図

数学Ⅰから2題、数学Aから2題、数学Ⅱから1題の計5題を出題した。60分間で筆答2題、選択は3題から2題の合計4題を解答（マーク式）する。受験者が数学Ⅰと数学Aだけで解答できるように選択の設定をしている。

必答問題として、数学Ⅰの2次関数・2次方程式と数学Aの場合の数・確率を出題した。高校数学の最重要分野における基礎事項の定着度、簡単なルールの試行に基づく数学的思考力について、段階的に設問レベルを上げながら問うこととした。

選択問題は、図形と計量（数学Ⅰ）、図形の性質（数学A）、2次関数の微分・積分（数学Ⅱ）から出題し、図形の基本である三角形の辺や角を取り扱うことのできる代数的能力、初頭幾何の有名定理を活用する幾何的能力、微積分における基礎事項の理解とやや複雑な計算の完遂力を問うこととした。